

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 高知県 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	高知県立中芸高等学校 ① 事前学習・事後学習 2年次生（25名） ② 講演・実技体験 全校生徒（50名）、教職員（15名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ 講演は学校行事 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックを通じて「スポーツの価値や効果」、「障害者スポーツ」、「郷土や外国の文化」などに関する学びの機会を提供し、県民のスポーツに対する理解を深め、大会後も県民が主体的、積極的にスポーツ活動に参画する持続可能なスポーツ環境づくりにつなげるとともに、オリンピック・パラリンピックへの県民の意識を高め、2020年東京大会に多くの県民が主体的に取り組む機運の醸成を図る。
5 取組内容	高等学校及び特別支援学校を中心に、学校の授業においてオリンピック・パラリンピックそのものについての学びと、オリンピック・パラリンピックを通じた「スポーツの価値や効果」、「障害者スポーツ」、「郷土や外国の文化」などの学びを展開する。  ○パラリンピアン（池 透暢氏）の講演・実技体験を中心とし、保健体育科教員による事前学習、事後学習を実施。  (1) 事前学習 日時：平成29年11月8日（水） 場所：中芸高校選択教室 対象者：2年次生 25名 内容：オリンピズムとは。オリンピックの精神。パラリンピックの価値等。 (2) 講演・実技体験 日時：平成29年11月9日（木） 場所：中芸高校体育館

## 5 取組内容

対象者：全校生徒（50名）、教職員（15名）  
講師：池 透暢氏（日興アセットマネジメント）  
リオデジャネイロパラリンピック  
ウェルチェアーラグビー日本代表キャプテン  
銅メダリスト  
演題：「挑戦することの大切さとスポーツの魅力」

### （3）事後学習

日時：11月15日（水）、22日（水）

場所：中芸高校選択教室

対象者：2年次生 25名

内容：オリンピック・パラリンピックの歴史、種目、2020東京  
オリンピックパラリンピックに向けて私たちにできること、  
スポーツと経済、ドーピング問題等。



講演の様子



実技体験の様子

<p>6 主な成果</p>	<p>(1) アンケート (抜粋)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○池選手の筋肉を見て、障害の無い人以上に努力をして身体を鍛えているのだなと思った。</p> <p>○お互いの車いすがぶつかったときの衝撃がこんなにも強いのかと驚いた。</p> <p>○オリンピックやパラリンピックの競技がこんなに多いとは思わなかった。</p> <p>○パラリンピックには冬季大会があることも知らなかった。</p> </div> <p>今回、実際にパラアスリートのお話を聞き、車いすラグビーを体験したことで、障害者スポーツのことを知り、障害者の努力やそれを支える仲間・家族との関係など、大切なことを多く学ぶことができました。今までオリンピックやパラリンピックについて全く興味を持っていない生徒が、東京大会を実際に見てみたいし、テレビを観戦して応援したいという意欲を持った生徒が出てきたことは、実施した成果の表れではないか。</p> <p>次年度も今年以上の成果を期待して実施したいと思う。</p> <p>(2) 地域セミナーへの参加 他校の先生方と意見交換することができて、自校での取組の参考になった。</p> <p>(3) 実践発表 推進校の発表が他校で実践に参考になればよいと思う。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>体育理論の時間を活用して、事前学習を1時間、事後学習を2時間行った。事後指導では、オリンピック・パラリンピックの精神や歴史を学び、高知県内の障害者スポーツ大会の参加人数など生徒達にとって身近な内容を取り入れた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>学校行事や授業が入っているため、講演と実技体験の時間を確保することが難しかった。</p> <p>本校では、事前学習と事後学習は体育理論の授業で確保できる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>体育理論の時間を使って、次年度も継続してオリンピック・パラリンピック教育を行う予定。</p>